

# これからも、 ずっと家族のように。

～おかげさまで、ファミリーマートは30周年～



1981年



2011年



株主の皆さま、こんにちは。日頃よりファミリーマートをご支援賜りまして、誠にありがとうございます。

このたび東日本大震災により、被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

ここに、当社第30期報告書(2010年3月1日から2011年2月28日まで)をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

2011年5月  
代表取締役社長 上田 準二

## 2010年度のレビュー(2010年3月から2011年2月まで)

2010年度も当社は加盟店とともに、商品開発・サービスをはじめとしたあらゆる分野における「ファミリーマートらしさ」の実現に向け、小売業の基本である「S&QCの徹底」と「ホスピタリティ(おもてなしの心)」あふれる店舗づくりを行ってまいりました。特に、2010年3月1日の株式会社エーエム・ピーエム・ジャパンとの合併を受けて、am/pm店のファミリーマート店への転換を中心とした事業統合を最重点課題として取り組み、ドミナントの構築と経営効率の向上を図ってまいりました。

商品面では、主力の中食商品を中心としたオリジナル商品の開発を進め、品質の向上と品揃えの差別化を図ってまいりました。なかでも「金芽米おむすび」シリーズでは、素材にこだわった高付加価値商品を充実させ、好評をいただきました。また、重点商品カテゴリーの『Sweets+(デザート)』では、スイーツ好きな男性をターゲットとした「俺のスイーツ」シリーズの新商品「俺のエクレア」が大ヒット商品となり、デザート全体のブランド力向上につながりました。さらに、9月に発足した「おとなコンビニ研究所」の監修による「おとな世代」のニーズに合わせ彩りや調理技術にこだわった中食商品を継続して発売したほか、am/pmのノウハウを採り入れたスープやサラ

ダを首都圏を中心に発売するなど、客層や地域に合わせた品揃えを拡充いたしました。

店舗展開におきましては、三大都市圏と地方都市を中心とした成長性の高い店舗の出店に加え、マーケットの変化に対応したB&S(ビルド&スクラップ)を適宜実施するとともに、am/pmとのブランド統合についても予定通り進捗し、転換後の日商も約2割伸長を維持いたしました。これらの結果、新設店日商は過去最高となる564千円(前期差125千円増)となりました。

海外における店舗展開につきましても、各地域で店舗数の拡大を進め、タイでは10月に600店舗、中国では12月に500店舗を達成、2011年2月末現在において、台湾、韓国、タイ、中国、アメリカ、ベトナムを合わせた国内外の総店舗数は17,598店舗となりました。

これらの結果、2010年度の連結業績につきましては、営業総収入319,889百万円(前期比15.0%増)、営業利益38,223百万円(同14.0%増)、経常利益39,907百万円(同11.6%増)、当期純利益18,023百万円(同19.3%増)となり、全ての利益段階で過去最高益を達成いたしました。



## 2011年度の取組み

2011年度につきましては、3月11日に発生した東日本大震災の影響も各産業において甚大となることが予想され、当社を取り巻く環境は厳しく推移するものと思われま

す。このような状況の中、2011年度は「守り」と「攻め」を徹底的に推進してまいります。被災地におけるチェーン機能の復旧を最優先に、お客さまがコンビニエンスストアに求める役割・機能を十分に認識し、その実現に向け全力を挙げて取り組んでまいります。

一方、創立30周年を、「つながり」をテーマとして、さまざまなキャンペーンや取組みを通じて加盟店と一緒に盛り上げ、ブランドイメージと業績向上の1年としてまいります。

商品面では、重点商品カテゴリーである『三ツ星パスタ』『Sweets+(デザート)』『できたてファミマキッチン(ファスト・フード)』『あじわい Famima Café(チルド飲料)』に加え、下期には「惣菜・サラダ」を新たな重点商品カテゴリーとし、さらなるブランド向上を目指してまいります。いずれのカテゴリーにおきましても、従来以上に商品の価値を高めながら、適正な価格でお客さまにご提供してまいります。

店舗展開では、国内におきましては首都圏のam/pmブランド統合完了とともに、4月1日の株式会社エーエム・ピーエム・関西との合併により、関西地区におけるam/pm店のファミリーマート店への転換を順次実施してまいります。

なお、JR九州リテール株式会社では、この3月に全てのam/pm店のブランド転換が完了し、想定通り好調に推移しております。

海外の店舗展開におきましても、引き続きアジア各地域を

中心とした出店を積極的に行い、グローバル体制を構築してまいります。

2012年2月末における国内外の総店舗数は、前期差1,835店の19,433店を計画しており、2012年度20,000店、2015年度25,000店体制を目指してまいります。

これらの結果、2011年度の連結業績見通しにつきましては、営業総収入は318,900百万円(前期比0.3%減)、営業利益は38,500百万円(同0.7%増)、経常利益は40,500百万円(同1.5%増)を計画しております。

なお、東日本大震災による被災店舗の建替えや加盟者への再建支援等、災害に起因する損失等について精査中であることを勘案し、当期純利益については10,000百万円から12,000百万円と、レンジ形式にしております。

次期配当金につきましては、中間配当金を1株当たり36円、期末配当金を1株当たり36円とし、通期では1株当たり72円を予定しております。

震災被害は甚大かつ広範囲にわたっております。しかしながら、これまでの対応を通じて社員・加盟店・お取引先との絆はより強固なものとなっており、ファミリーマートが地域のお客さまにとって必ずや今後の復興の支えとなっていくものと信じております。2011年度は大変厳しい年となりますが、「みんなの笑顔をファミマから。がんばれファミマ!がんばろうファミマ!」で皆が一丸となり力を合わせこの難局を乗り越えてまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後ともよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 東日本大震災について

ファミリーマートは地震発生直後から、被災地への緊急支援物資のお届け、ならびに商品の供給に全社を挙げて取り組んでまいりました。

今後も、被災地の皆さま、救援や復興活動に携わる皆さまへの支援を継続し、地域のお客さまにとっての支えとなっていく所存でございます。

### 被災地の皆さまへの支援

#### 緊急支援物資のお届け

ファミリーマートは、自治体との災害時における物資の調達に関する協定等に基づき、地震発生の直後から、被災地の皆さまへ緊急支援物資をお届けしております。

#### 義援金募金活動の実施

全国のファミリーマート店および海外のファミリーマート店で、以下の通り義援金の募金活動を実施しております。義援金募金の総額は2011年4月末日現在9億6,480万688円となり、随時被災地の皆さまのもとにお届けいたします。

#### 〈義援金の内訳〉(2011年4月末日までの実施分)

- 店頭募金  
4億5,352万3,826円
- Famiポート募金  
4億4,997万4,500円
- グローバル募金(台湾、タイ、ベトナム、アメリカ、中国における店頭募金、社員募金等)  
6,130万2,362円

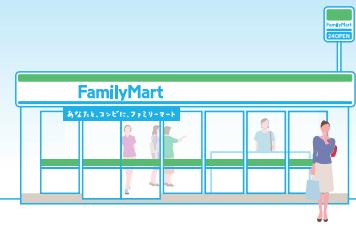
#### 〈物資供給内容〉

2011年4月末日現在

お届け日	お届け先	お届けした商品
3月13日	岩手県	ゼリー飲料:390食、菓子:306食 カップラーメン類:831食
3月13日	青森県	ゼリー飲料:384食、菓子:312食 カップラーメン類:996食
3月14日	福島県	霧島の天然水(500ml):14,400本 カップラーメン:4,800食
3月16日	宮城県	ミネラルウォーター(1.5L):1,680本 カップラーメン:10,000食
3月17日 ※1	宮城県仙台市 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 東北拠点	毛布:600枚、子供用おもちゃ:200個 食料(レトルト保存食、カップ麺など):800個 おもちゃ、文具:200個、テント:2個
3月17日	岩手県	カップラーメン(カップ焼きそば):480食
3月18日	福島県	白米:510kg
3月20日 ※2	千葉県	おむすび:2,300個
3月21日 ※2	千葉県	おむすび:3,100個、寿司:300食、弁当:100食
3月21日 3月25日	神奈川県	BOXティッシュ:30箱、カップラーメン:600食
3月23日 3月24日	福島県	ミネラルウォーター(500ml):32,256本
3月23日	岩手県	カップラーメン:5,328食 ミネラルウォーター(500ml):12,000本
3月24日 ※2	宮城県仙台市 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 東北拠点	ハンドソープボトル:200本 ハンドソープ詰替:240本 固形せっけん:480個
3月31日 ※1	宮城県仙台市 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 東北拠点	毛布:1,000枚
4月 1日	東京都調布市 味の素スタジアム(避難所)	耳栓:60個、アイマスク:60個 (応援メッセージを添えて)
4月14日 ※3 4月15日 ※3	岩手県	防菌防塵マスク:3万枚、雑巾:9,000枚 生理用品:1万1,000個、オムツ:12万4,000個 使い捨てパンツ:5,000枚、乾電池:71万8,000個
4月14日 ※3	神奈川県	ミネラルウォーター(500ml):15,984本

※1…運搬支援のみ ※2…ファミリーマートのお取引先さまの協力による支援

※3…台湾ファミリーマートによる支援



## 被災地における店舗について

### 本社勤務社員による支援

被災した店舗の営業再開に向けて、本社勤務社員を部門を問わず動員し、全社を挙げた支援を実施しております。

#### 〈業務内容〉

- 営業再開店舗への支援  
店舗運営者の休息取得支援、ストアスタッフ不足への対応 等
- 営業再開に向けての支援  
店内外の清掃、商品整理 等

### 店舗の営業状況

2011年4月末日現在では、東北地区の586店舗中約540店舗が営業を再開しております。

当社は、東日本大震災により、東北地方および関東地方の工場、物流センター、店舗等が被害を受けました。なお、この災害に起因する損失額等（固定資産の滅失損失および加盟者への復旧支援費用等）につきましては、現在確認・精査中ではありますが、決算発表日（2011年4月7日）現在では、40億円から70億円を見込んでおります。

※実際の損失額等につきましては、さまざまなリスク要因や不確実な要素によって、記載の内容と異なる結果となる可能性があります。

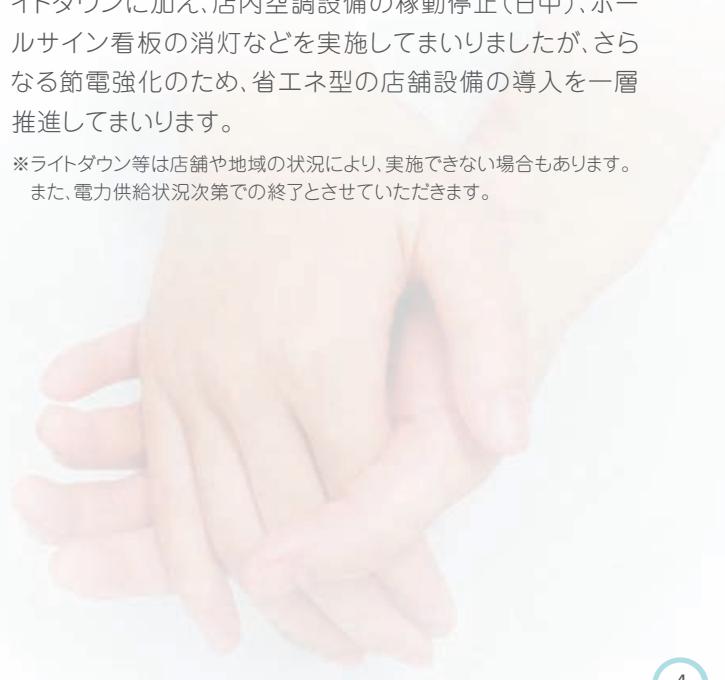
## 営業中の店舗における取組み

### ライトダウン等の実施

全国のファミリーマート店およびam/pm店では、2011年3月13日（日）の夕刻より、地震に伴う電力供給逼迫に対する節電協力として、ファサード看板、店頭スタンド看板、店内冷蔵・冷凍ショーケースの蛍光灯を消灯するなどのライトダウンを実施しております（東北と関東地区を除く地域につきましては、現在、状況に応じて対応しております。）。

また、関東地区のファミリーマート店舗約3,400店では、ライトダウンに加え、店内空調設備の稼働停止（日中）、ポールサイン看板の消灯などを実施してまいりましたが、さらなる節電強化のため、省エネ型の店舗設備の導入を一層推進してまいります。

※ライトダウン等は店舗や地域の状況により、実施できない場合もあります。また、電力供給状況次第での終了とさせていただきます。



ファミリーマートは、誕生以来お客さまの最も身近な存在として成長してまいりました。その30年のあゆみを紹介いたします。

## 1970年代 創業の時代

1973年9月

株式会社西友ストアーが  
実験第1号店を  
埼玉県狭山市に開店



1978年

ブランドロゴマーク  
「太陽と星のマーク」が  
誕生



1978年8月

一般募集によるフランチャイズ1号店  
(24時間営業)を船橋市に開店

## 1990年代 発展の時代

1990年5月

POSシステムの全店導入を完了

1992年2月

新たな企業理念のもと、  
店舗デザインを一新



1970

1980

1981

1990

## 1980年代 躍進、成長の時代

1981年9月

株式会社ファミリーマートが  
発足



1982年

初のテレビCMを放映



株式会社ファミリーマート  
誕生

1987年5月

「ファミリーマートブランド」商品が  
デビュー

1988年12月

海外1号店が台湾・台北市に開店

1989年8月

東京証券取引所の市場第一部  
銘柄に指定

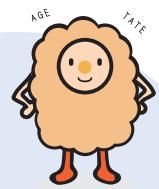
1989年

キャッチコピー  
「あなたと、コンビニに、  
ファミリーマート」



1998年  
ポールサインを現在の  
デザインに変更

## 2000年代 革新の時代



1999年  
環境活動のマーク・キャッチコピー  
「We Love Green」を制定



We Love Green



2000年10月  
マルチメディア情報端末  
「Famiポート」の導入を開始



2005年8月  
オリジナルフライドチキン  
販売本数1億本突破



2001年4月  
サッカー日本代表チームの  
スポンサーシップカンパニー  
契約を締結

2004年6月  
ファミリーマートの新ブランド  
「ファミマ!! 恵比寿ガーデンプレイス店」  
開店

2000

2010

2011

2006年  
『三ツ星パスタ』、『Sweets+』、  
『できたてファミマキッチン』を展開

2007年11月  
Tポイントサービス開始  
新たに「ファミマTカード」を発行



株式会社ファミリーマート  
30周年

2006年7月  
北海道に出店し全国47都道府県への  
出店を達成

2009年4月  
『あじわい Famima Café』を展開

2009年7月  
あなたの町から、世界の町へ  
グローバル15,000店を突破

2007年7月  
西武鉄道駅構内に売店  
「TOMONY」を出店



2010年3月  
株式会社エーエム・ピーエム・ジャパンと  
合併し、店舗網を拡大強化  
東京ではトップチェーンに



## 質の高い店舗網の構築

国内では、三大都市圏と地方都市を中心とした着実な店舗網の拡大と、ニューマーケットへの対応を進めております。また海外では、2010年にタイ600店舗、中国500店舗を達成いたしました。

### タイ600店舗、中国500店舗を達成

タイで展開するファミリーマート店舗数が、2010年10月に600店を達成、また、中国における店舗数が同年12月に500店を突破いたしました。2015年度には国内外25,000店を目指し、グローバル体制を構築してまいります。



タイ



中国

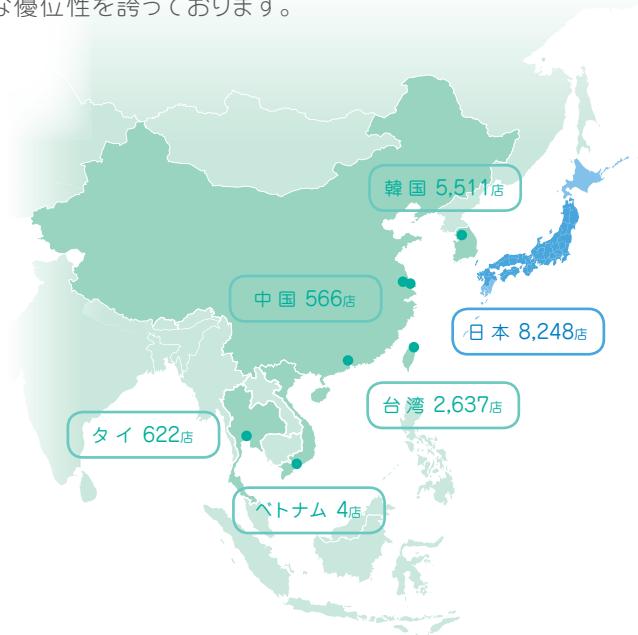
### TSUTAYAとの一体型店舗

ファミリーマートとTSUTAYAの初の一体型店舗「ファミマ!!品川フロントビル店」、「TSUTAYA品川港南口店」が、2010年12月にオープンいたしました。売場に壁を設けず店内を融合させることにより、お客さまの利便性を向上させ、相乗効果を高めてまいります。



### 相鉄線沿線店舗のファミリーマートへの転換

2010年10月、相鉄グループの流通関連企業である株式会社イストと、コンビニエンスストアの営業に関する包括業務提携契約を締結いたしました。ファミリーマートは、西武鉄道株式会社と2007年より共同で展開している「TOMONY」を始めとする豊富な出店ノウハウの蓄積により、鉄道各社との駅内外の店舗展開において、今や、圧倒的な優位性を誇っております。





## ファミリーマートチェーン国内地域別店舗数

●北海道/45	●東京/1,428	●滋賀/115	●香川/79
●青森/34	●神奈川/600	●京都/163	●愛媛/87
●岩手/99	●新潟/51	●大阪/703	●高知/31
●宮城/203	●富山/69	●兵庫/296	●福岡/331*
●秋田/46	●石川/74	●奈良/49	●佐賀/54*
●山形/87	●福井/91	●和歌山/64	●長崎/142*
●福島/116	●山梨/63	●鳥取/38	●熊本/104*
●茨城/170	●長野/45	●島根/37	●大分/77*
●栃木/119	●岐阜/89	●岡山/91	●宮崎/78
●群馬/92	●静岡/197	●広島/168	●鹿児島/206
●埼玉/426	●愛知/435	●山口/33	●沖縄/203
●千葉/349	●三重/120	●徳島/51	

※JR九州リテール株式会社が展開するファミリーマート店舗(福岡県:58店舗、佐賀県:3店舗、長崎県:3店舗、熊本県:6店舗、大分県:17店舗)を、店舗数に含めております。

アメリカ 10店

## 株式会社ファミリーマート

7,629店

## 国内エリアフランチャイザー

619店

株式会社北海道ファミリーマート  
株式会社南九州ファミリーマート  
株式会社沖縄ファミリーマート  
JR九州リテール株式会社

## 海外エリアフランチャイザー

9,350店

全家便利商店股份有限公司(台湾)  
BOKWANG FAMILYMART CO., LTD. (大韓民国)  
Siam FamilyMart Co., Ltd. (タイ王国)  
上海福満家便利有限公司(中華人民共和国)  
広州市福満家便利店有限公司(中華人民共和国)  
蘇州福満家便利店有限公司(中華人民共和国)  
FAMIMA CORPORATION(アメリカ合衆国)

※ベトナム社会主義共和国において、会社設立の準備を進めております。

## ファミリーマートチェーン店舗数

国内店舗数 8,248店

海外店舗数 9,350店

合計 17,598店

(2011年2月28日現在)

※上記店舗数には、以下の会社が展開するam/pm店舗を含めておりません。  
株式会社ファミリーマート335店舗、エリアフランチャイザー2社134店舗、合計469店舗



## こだわり商品情報

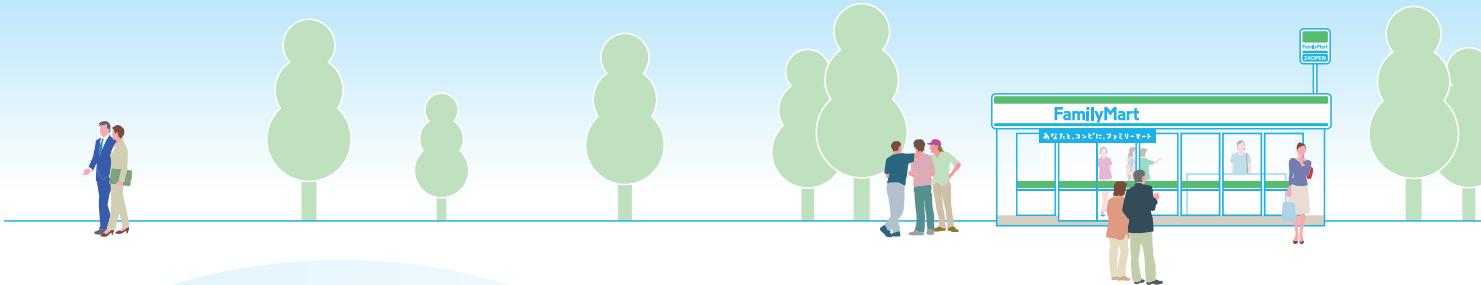
幅広いお客さまに親しまれる『Sweets+』

『Sweets+』はご家庭など、“誰かと一緒に”お楽しみいただけるスイーツとして、幅広い世代のお客さまに親しまれております。なかでも発売以来人気の高いエクレアシリーズは、シリーズ第8弾として男性向けにボリューム満点、甘さ控えめの「俺のエクレア」を2011年1月に新発売し、品薄となるほどのご好評をいただいております。

# Sweets+

エクレアシリーズ第8弾  
俺のエクレア





## 上質な商品の展開

これからの消費の主力を担う「50～65歳のおとな世代」に、「こころの豊かさ」を提案することで、新たな「おとな」のライフスタイル・文化の創造に貢献することを目的に、「おとなコンビニ研究所」を発足しました。その取組みの一環として、価格以上に価値にこだわる「おとな世代」に向けた商品開発を進めております。

「金芽米おむすび」シリーズでも、素材にこだわった高付加価値商品を充実させ、ご好評をいただいております。

### 「おとな世代」に向けた商品

おとな  
コンビニ  
研究所

### 「金芽米おむすび」シリーズ



※パッケージは現在のものと異なります。

## 次世代につながる看板商品づくり

ファミリーマートの創立30周年を機に、これまでのご愛顧への感謝を表すとともに、次世代に向けて、さらに愛される商品を目指し、「次世代につながる看板商品づくり」に取り組んでおります。

商品の開発においては、「新製法」「新素材」「新概念」といった新しい価値を付加することで、今後ファミリーマートを代表する商品となるよう「ファミマのイチ押し自信作!」としてお客さまに提案してまいります。



「海老ピラフ&ハンバーグ弁当」と「こだわりパン工房 ホイップメロンパン」



「とっておきの生クリームプリン」



## 関西地区におけるam/pm店のファミリーマート店への転換状況

2011年4月1日に、カップ・クリエイト株式会社の連結子会社でありam/pm店舗122店を展開する株式会社エーエム・ピーエム・関西を吸収合併いたしました。2011年度は、首都圏、九州地区に続き、関西地区においてもam/pm店のファミリーマート店への転換を進めてまいります。これにより、全国のam/pm店をファミリーマート店へ転換することとなります。本件の推進により、経営効率と収益力のさらなる向上を図り、競争力を強化してまいります。

## ポケットカード株式会社とファミマクレジット株式会社の経営統合

2011年2月21日、ポケットカード株式会社、ファミマクレジット株式会社、伊藤忠商事株式会社、株式会社ファミリーマート、株式会社三井住友銀行は、ポケットカードとファミマクレジットの経営統合に関する協議を進めておりましたが、両社の株式交換の実施、および2012年度中を目途とした合併を検討することに合意いたしました。現在の提携関係をさらに発展・強化し、双方の業務上の強みを融合することで、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

## 第15回「IR優良企業賞」を受賞!

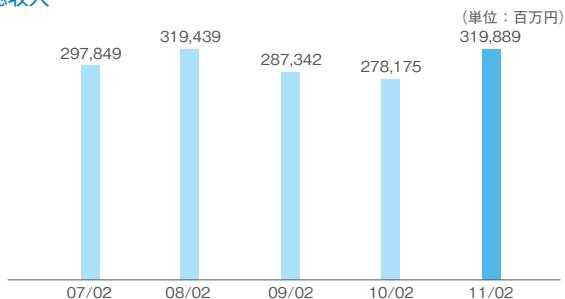
日本IR協議会が選定する第15回「IR優良企業賞」を受賞いたしました。今回の受賞は2006年に続き4年ぶり2回目の受賞となります。同賞は、IRの趣旨を深く理解し、積極的に取り組み、市場関係者の高い支持を得るなどの優れた成果を挙げた企業を選び、表彰することを目的としたものです。今後も、正確性・迅速性・公平性を旨とし、企業価値向上の一助となるIR活動を行ってまいります。



# 業績の推移(連結)



## 営業総収入

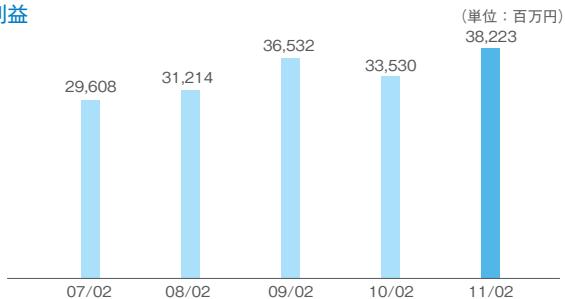


※2009年2月期から株式会社ファミマドットコム(連結子会社)において、「ソフトウェア取引の収益の会計処理に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年3月30日 実務対応報告第17号)の趣旨に鑑み、委託契約取引に係る売上高を従来の総額表示から純額表示に変更しております。

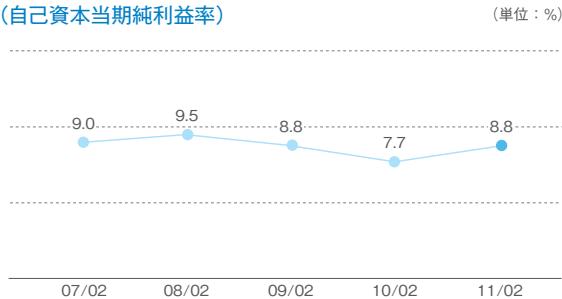
## 総資産および純資産



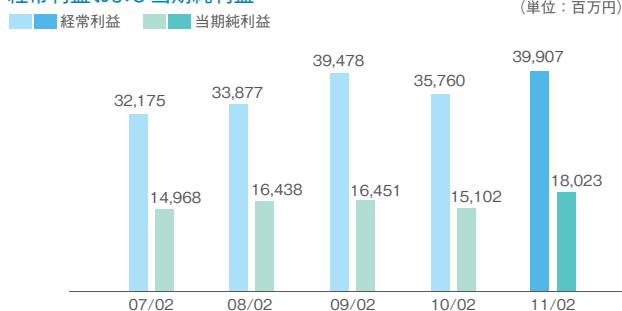
## 営業利益



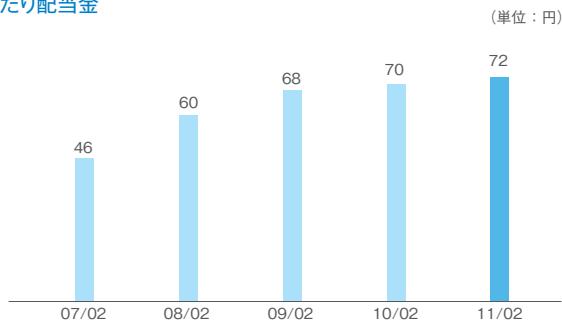
## ROE (自己資本当期純利益率)



## 経常利益および当期純利益



## 1株当たり配当金



# 連結財務諸表



## 連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (2011年2月28日現在)	前連結会計年度 (2010年2月28日現在)
<b>【 資 産 の 部 】</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	95,032	83,522
加盟店貸勘定	13,139	27,494
有価証券	4,522	6,775
商品	7,784	7,022
前払費用	8,695	8,320
繰延税金資産	11,801	2,321
未収入金	35,037	26,727
その他	30,874	16,660
貸倒引当金	△553	△1,601
<b>流動資産合計</b>	<b>206,334</b>	<b>177,244</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	27,884	27,264
機械装置及び運搬具	3,301	2,417
工具、器具及び備品	27,547	14,919
土地	14,124	14,327
その他	306	189
<b>有形固定資産合計</b>	<b>73,165</b>	<b>59,117</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	9,187	8,412
のれん	—	25,060
個店営業権	2,918	4,674
その他	2,422	144
<b>無形固定資産合計</b>	<b>14,527</b>	<b>38,291</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	23,288	19,026
長期貸付金	—	10,779
繰延税金資産	3,726	3,208
敷金及び保証金	106,242	107,697
その他	11,549	11,715
貸倒引当金	△2,799	△2,871
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>142,007</b>	<b>149,555</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>229,699</b>	<b>246,965</b>
<b>資産合計</b>	<b>436,034</b>	<b>424,209</b>

科 目	当連結会計年度 (2011年2月28日現在)	前連結会計年度 (2010年2月28日現在)
<b>【 負 債 の 部 】</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	71,169	80,437
加盟店借勘定	5,928	2,843
リース債務	3,492	4,580
未払金	21,944	23,740
未払費用	5,053	5,628
未払法人税等	1,304	6,180
預り金	63,966	59,331
その他	4,640	6,103
<b>流動負債合計</b>	<b>177,500</b>	<b>188,846</b>
<b>固定負債</b>		
リース債務	19,964	7,994
退職給付引当金	6,846	6,090
役員退職慰労引当金	506	538
長期預り敷金保証金	10,390	10,644
長期リース資産減損勘定	1,526	1,408
その他	2,318	2,195
<b>固定負債合計</b>	<b>41,553</b>	<b>28,872</b>
<b>負債合計</b>	<b>219,054</b>	<b>217,718</b>
<b>【 純 資 産 の 部 】</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	16,658	16,658
資本剰余金	17,389	17,389
利益剰余金	187,544	176,274
自己株式	△8,739	△7,637
<b>株主資本合計</b>	<b>212,852</b>	<b>202,685</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	240	133
為替換算調整勘定	△3,527	△2,995
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>△3,287</b>	<b>△2,862</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>7,413</b>	<b>6,667</b>
<b>純資産合計</b>	<b>216,979</b>	<b>206,490</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>436,034</b>	<b>424,209</b>

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (自2010年3月1日 至2011年2月28日)	前連結会計年度 (自2009年3月1日 至2010年2月28日)
営業収入	208,193	184,155
売上高	111,696	94,019
営業総収入	319,889	278,175
売上原価	77,713	65,301
売上総利益	33,983	28,718
営業総利益	242,176	212,873
販売費及び一般管理費	203,953	179,342
営業利益	38,223	33,530
営業外収益	2,393	2,664
営業外費用	709	435
経常利益	39,907	35,760
特別利益	1,220	203
特別損失	6,752	7,684
税金等調整前当期純利益	34,375	28,278
法人税、住民税及び事業税	1,774	12,117
法人税等調整額	13,139	268
少数株主利益	1,438	790
当期純利益	18,023	15,102

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (自2010年3月1日 至2011年2月28日)	前連結会計年度 (自2009年3月1日 至2010年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,337	△6,574
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,798	△36,152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,976	△8,341
現金及び現金同等物に係る換算差額	△237	342
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,325	△50,726
現金及び現金同等物の期首残高	85,161	135,887
現金及び現金同等物の期末残高	95,486	85,161

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度(自2010年3月1日 至2011年2月28日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
前期末残高	16,658	17,389	176,274	△7,637	202,685	133	△2,995	△2,862	6,667	206,490
当期変動額										
剰余金の配当			△6,753		△6,753					△6,753
当期純利益			18,023		18,023					18,023
自己株式の取得				△1,102	△1,102					△1,102
自己株式の処分		△0		0	0					0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						107	△532	△424	746	321
当期変動額合計	-	△0	11,269	△1,102	10,167	107	△532	△424	746	10,489
当期末残高	16,658	17,389	187,544	△8,739	212,852	240	△3,527	△3,287	7,413	216,979

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 単体財務諸表



## 貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (2011年2月28日現在)	前事業年度 (2010年2月28日現在)
<b>【 資 産 の 部 】</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	80,770	56,009
加盟店貸勘定	13,103	24,629
有価証券	3,999	5,996
商品	2,253	1,848
前払費用	8,131	7,023
繰延税金資産	11,700	2,220
関係会社短期貸付金	9,076	14,900
未収入金	33,470	22,922
立替金	9,436	3,916
短期敷金	6,456	6,220
その他	1,309	1,771
貸倒引当金	△529	△161
<b>流動資産合計</b>	<b>179,180</b>	<b>147,297</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	19,922	19,367
構築物	2,822	2,910
機械及び装置	3,285	2,400
工具、器具及び備品	21,650	9,493
土地	10,465	10,584
その他	44	104
<b>有形固定資産合計</b>	<b>58,191</b>	<b>44,861</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>12,844</b>	<b>7,928</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	12,626	10,240
関係会社株式	20,265	19,051
関係会社長期貸付金	1,593	12,391
長期前払費用	7,573	8,457
繰延税金資産	5,434	4,500
敷金	103,302	96,016
その他	3,569	3,540
貸倒引当金	△3,828	△2,324
投資損失引当金	△10,336	△8,999
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>140,199</b>	<b>142,875</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>211,235</b>	<b>195,665</b>
<b>資産合計</b>	<b>390,416</b>	<b>342,962</b>

科 目	当事業年度 (2011年2月28日現在)	前事業年度 (2010年2月28日現在)
<b>【 負 債 の 部 】</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	4,052	3,244
加盟店買掛金	56,890	50,569
加盟店借勘定	5,322	610
リース債務	3,458	1,204
未払金	18,309	15,998
加盟店未払金	2,458	1,246
未払費用	2,153	2,020
未払法人税等	605	5,442
預り金	53,456	43,352
その他	3,434	1,797
<b>流動負債合計</b>	<b>150,142</b>	<b>125,486</b>
<b>固定負債</b>		
リース債務	19,851	7,874
退職給付引当金	6,498	5,682
役員退職慰労引当金	480	519
長期預り敷金	6,540	6,158
長期リース資産減損勘定	1,526	1,408
その他	971	355
<b>固定負債合計</b>	<b>35,869</b>	<b>21,999</b>
<b>負債合計</b>	<b>186,011</b>	<b>147,486</b>
<b>【 純 資 産 の 部 】</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	16,658	16,658
<b>資本剰余金</b>		
資本準備金	17,056	17,056
その他資本剰余金	331	331
<b>資本剰余金合計</b>	<b>17,388</b>	<b>17,388</b>
<b>利益剰余金</b>		
利益準備金	2,668	2,668
その他利益剰余金		
別途積立金	155,753	152,253
繰越利益剰余金	20,432	14,008
<b>利益剰余金合計</b>	<b>178,854</b>	<b>168,930</b>
自己株式	△8,739	△7,637
<b>株主資本合計</b>	<b>204,162</b>	<b>195,340</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	242	135
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>242</b>	<b>135</b>
<b>純資産合計</b>	<b>204,405</b>	<b>195,475</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>390,416</b>	<b>342,962</b>

\*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (自2010年3月1日 至2011年2月28日)		前事業年度 (自2009年3月1日 至2010年2月28日)	
営業収入		185,823		163,752
加盟店からの収入		167,636		148,734
その他の営業収入		18,186		15,018
売上高		84,994		69,271
営業総収入		270,817		233,024
売上原価		60,811		49,412
売上総利益		24,183		19,859
営業総利益		210,006		183,612
販売費及び一般管理費		176,265		153,366
営業利益		33,741		30,246
営業外収益		2,810		2,809
営業外費用		664		373
経常利益		35,887		32,682
特別利益		1,187		185
特別損失		7,162		7,912
税引前当期純利益		29,912		24,955
法人税、住民税及び事業税		495		10,785
法人税等調整額		12,738		3,865
当期純利益		16,678		10,305

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書 当事業年度(自2010年3月1日 至2011年2月28日)

(単位：百万円)

	株主資本										評価・換算差額等 純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金					利益剰余金 合計
<b>前期末残高</b>	16,658	17,056	331	17,388	2,668	152,253	14,008	168,930	△7,637	195,340	135	195,475
<b>当期変動額</b>												
別途積立金の積立						3,500	△3,500	—		—		—
剰余金の配当							△6,753	△6,753		△6,753		△6,753
当期純利益							16,678	16,678		16,678		16,678
自己株式の取得									△1,102	△1,102		△1,102
自己株式の処分			△0	△0					0	0		0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)											107	107
<b>当期変動額合計</b>	—	—	△0	△0	—	3,500	6,424	9,924	△1,102	8,822	107	8,929
<b>当期末残高</b>	16,658	17,056	331	17,388	2,668	155,753	20,432	178,854	△8,739	204,162	242	204,405

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

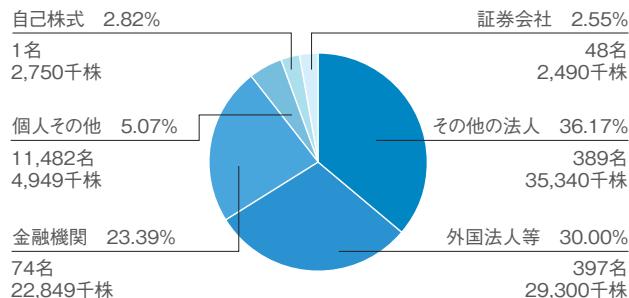
# 株式の状況

(2011年2月28日現在)



## 株式分布状況

発行可能株式総数…………… 250,000,000株  
 発行済株式の総数…………… 97,683,133株  
 株主数…………… 12,391名



## 大株主の状況

氏名または名称	持株数	持株比率
伊藤忠商事株式会社	29,941千株	31.53%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,348千株	6.68%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,332千株	3.50%
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	2,930千株	3.08%
株式会社みずほ銀行	2,085千株	2.19%
日本生命保険相互会社	1,964千株	2.06%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,530千株	1.61%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	1,412千株	1.48%
THE CHASE MANHATTAN BANK, N. A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	1,261千株	1.32%
ドイツ証券株式会社	1,088千株	1.14%

※持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を減じた株式数(94,932,389株)を基準に算出しております。

# 会社概要

(2011年2月28日現在)



## 役員 (2011年5月26日現在)

商号	株式会社ファミリーマート
本店所在地	〒170-6017 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号
設立年月日	1981年9月1日
資本金	166億58百万円
事業目的	フランチャイズシステムによるコンビニエンスストア事業
チェーン全店売上高	1兆4,404億57百万円(2010年度)
チェーン全店舗数	17,598店
従業員数	3,358名

取締役	
代表取締役社長	上田 準二
専務取締役 専務執行役員	横田 孝行 宮本 芳樹
常務取締役 常務執行役員	小部 泰博 加藤 利夫
取締役 常務執行役員	高田 基生 小坂 雅章 和田 昭則 小松崎行彦 玉巻 裕章

監査役	
常勤監査役	石黒 正治 田辺 則紀
監査役	遠藤 隆 高岡 美佳

執行役員	
常務執行役員	潘 進丁 上野 和成 本多 利範 平田 満次
上席執行役員	伊藤 勝夫 岩切 公愛 中平 義人 益子 正吉
執行役員	鈴木 久 藤森 正美 木暮 剛彦 杉浦 正憲 市川 透 青木 実 北木 繁久 丸山 直美 菊池 潔 倉又 輝夫 杉浦 真 土方 軌 三浦 英樹 小野塚喜和 池田 知明 鈴木 和夫 竹林 昇

## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
剰余金の配当の基準日	毎年2月末日および8月31日
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 http://www.family.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所(第一部)
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
(ホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/ retail/service/daiko/index.html

### 株式に関するお手続きについて

単元未満株式の買取・買増請求、住所変更等のお手続きにつきましては、以下のいずれかにご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されている株主さま】

……………当該証券会社にご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されていない株主さま】

……株券電子化(施行日:2009年1月5日)により、住友信託銀行株式会社に開設された口座(特別口座)に株式が記録されておりますので、上記の電話照会先にご連絡ください。

## ホームページの紹介

<http://www.family.co.jp/>

ホームページでは、商品情報のほか、ニュースリリース、社会貢献・環境活動、投資家情報など当社に関する各種情報を公開しております。



トップページ



投資家情報ページ

### IRメール配信サービス

最新のIR情報をお知らせするIRメール配信サービスをご利用いただけます。

### 個人投資家の皆様へ

当社を知るための各種情報に簡単にアクセスできるよう、わかりやすく分類して掲載しております。

